

平成30年度
北海道大学 大学院法学研究科 法律実務専攻
(法科大学院)

入学者選考試験【後期日程】
「小論文試験」問題冊子

試験時間 : 10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 問題冊子は5ページある。
3. 解答用紙は、B4版で、小論文【問題1】 (片面印刷)、小論文【問題2】 (片面印刷)、小論文【問題3】 (両面印刷) の3枚である。
4. 解答用紙は3枚とも必ず提出せよ。
5. 受験番号 (上下2箇所) および氏名 (上1箇所) は、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入せよ。
6. 解答は、すべて所定の解答用紙の指定された欄に横書きで記入せよ。
7. 解答は、黒インクのボールペン又は万年筆 (ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。) で記入せよ。
8. 必要以外のことを解答用紙に書いてはならない。
9. 問題冊子の余白は下書きに使用してもさしつかえない。
10. 草稿用紙は回収しない。

次の文章を読んで、問題に答えなさい。

(文章省略)

出典：長谷部恭男『憲法とは何か』(岩波新書、2006年)

(但し、出題に際して、文章の一部を省略・変更している。)

問題1 下線部①について、モンテスキューはいかなる関心からどのような権力分立論を展開したのか、本文に即して論じなさい。(350字)

問題2 アッカーマン教授が下線部②のように述べるのはなぜか、教授の問題関心を考慮しつつ、また教授が挙げるリベラル・デモクラシーの3つの型を比較しながら、説明しなさい。(350字)

問題3 下線部③のような見方から、アッカーマン教授は古典的な三権以外に独立性を確保すべき領域として3つの分野を挙げている。この3つの分野でも、これ以外の分野でも、現代日本においてあなたが独立性を保障すべきだと考える分野ないし組織を一つ取り上げて、現代日本の状況の中でなぜ独立性を保障する必要があるのか、また独立性を保障するために具体的にどのような措置を講じるべきかを論じなさい。(700字)